

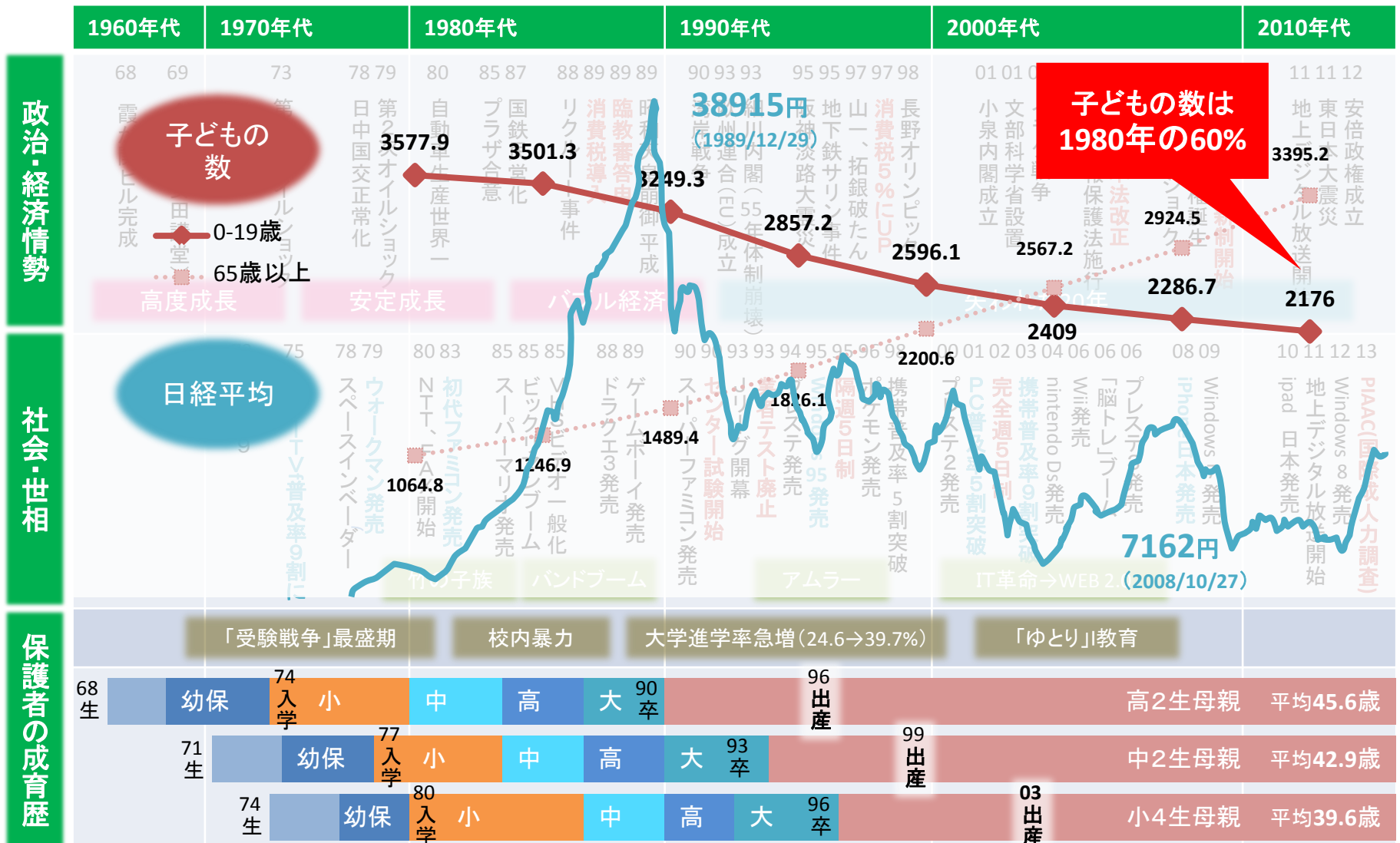
# グローバル人材育成に 必要な英語教育とは？

---

2014年6月30日  
ベネッセ教育総合研究所  
グローバル教育研究室  
加藤 由美子

# 問題提起

# 子どもをとりまく環境変化



<参考データ> 年表: ベネッセ教育総合研究所、株価推移: 日経平均経年推移、子どもの数: 国立社会保障・人口問題研究所データ

# 子どもをとりまく環境変化



<参考データ> 年表: ベネッセ教育総合研究所、株価推移: 日経平均経年推移、子どもの数: 国立社会保障・人口問題研究所データ

# 英語学習が成功する5つの条件

1. 年齢が若い
2. 外国語学習適性が高い
3. 母語が英語に近い
4. 学習動機が強い
5. 学習法が効果的

条件が不利な  
日本で変えること  
ができるもの

出典: 白井泰弘(ピッツバーク大学)「外国語学習の科学」九州国際大学 国際関係学論集(2011)

# 日本の英語教育課題① 学習動機

1. 実践の場が非常に少ない
2. 学習はテスト・入試・就職のため
3. 海外で活躍するイメージは少ない

→英語を実際に使うイメージ欠如  
「いつか・どこかで・だれかと」

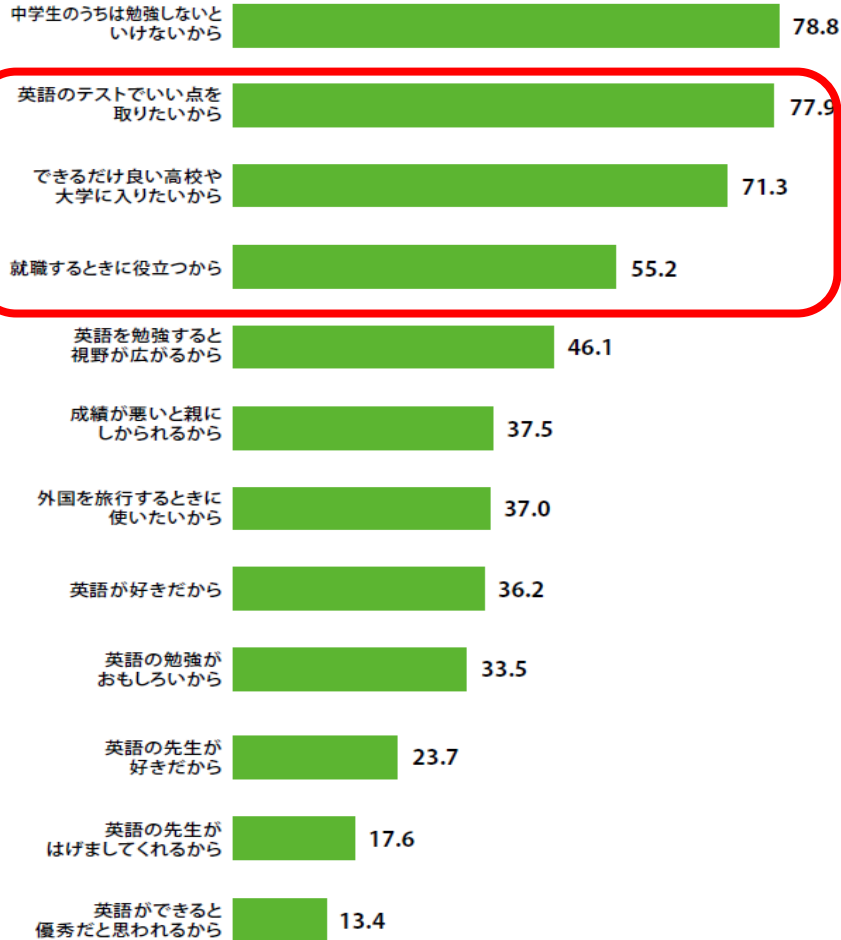
# 英語の学習動機

# 将来について

Q あなたが英語を勉強しているのは、どうしてですか。

図4-1 英語の学習動機

**英語の学習動機トップは、  
テスト・入試・就職** (%)

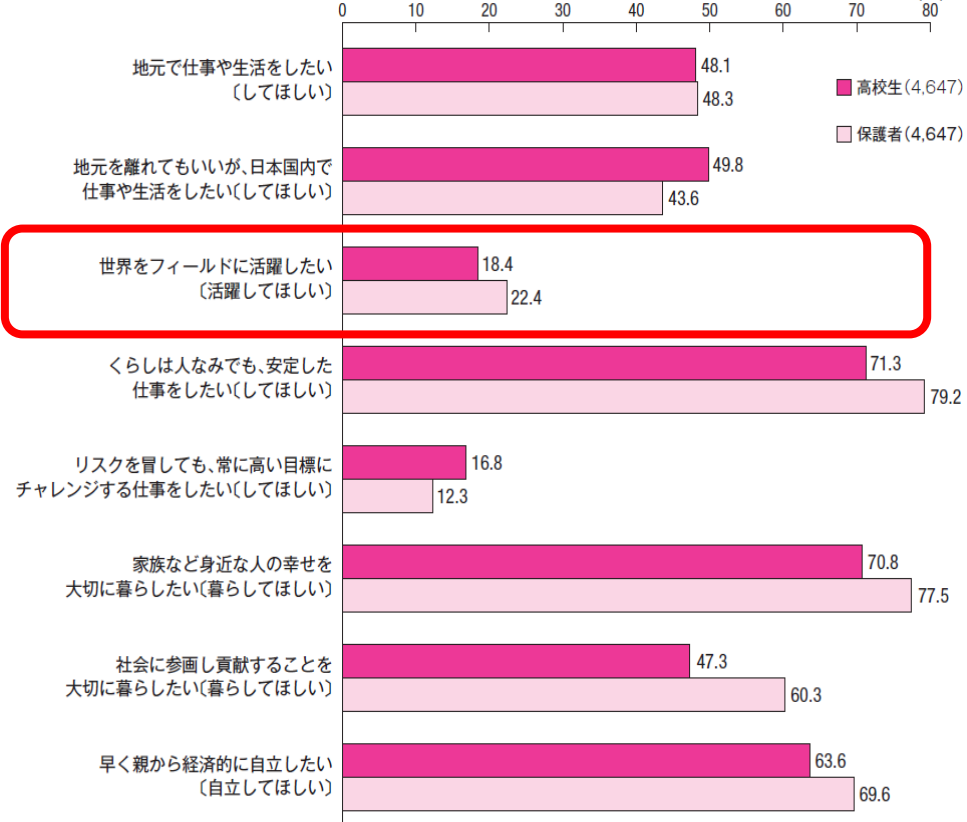


Q あなたは、自分の〔あなたのお子さまの〕将来について、次のようなことをどのくらい思いますか。

図3-4-1 将来について思うこと

高校1～3年生とその保護者

**世界をフィールドに活躍は2割前後**



注1) 「とてもそう思う」+「まあそう思う」の%。選択肢は「とてもそう思う」「まあそう思う」「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の5段階。

注2) ( )内は保護者に対する設問と選択肢。

注3) 対象は高校1～3年生とその保護者 4,647人。( )内はサンプル数。

「高校生と保護者の学習・進路に関する意識調査」(2011)

出典:ベネッセ総研「第1回中学校英語に関する基本調査【生徒調査】」(2009年)

©Benesse Holdings

出典:ベネッセ総研「高校生と保護者の学習・進路に関する意識調査」(2011年)

# 日本の英語教育課題② 学習方法

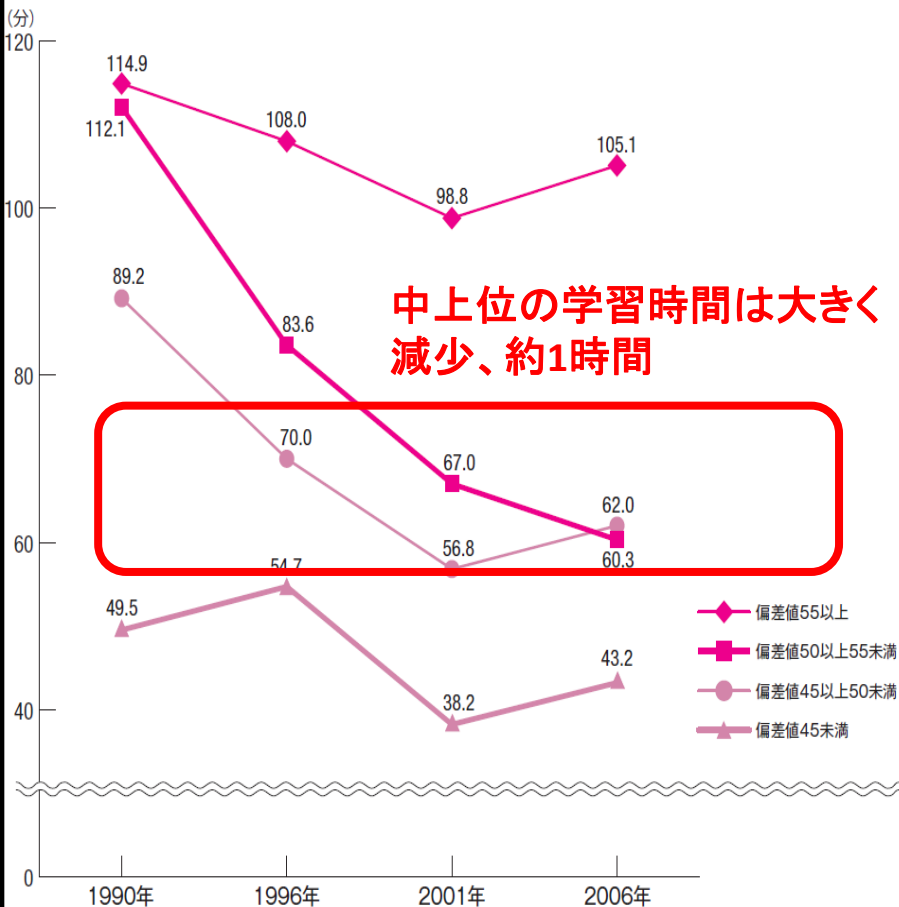
1. 学習時間が短い(学校＋家庭)
2. 英語に早い段階でつまづく
3. 「知識習得」中心の指導と学習  
→「英語を使う力」を身につけにくい



# 家庭での学習時間

Q あなたはふだん（月曜日～金曜日）、学校での授業以外に1日にだいたい何時間くらい勉強していますか。学習塾や予備校、家庭教師がついて勉強する時間も含めてください。

図2-1-1 平日の平均家庭学習時間(偏差値帯別) 高校2年生



中上位の学習時間は大きく減少、約1時間

注1) 偏差値は弊社「進研模試」のデータを使用。  
 注2) 平均家庭学習時間は、「ほとんどしない」を0分、「3時間30分」を210分、「それ以上」を240分のように置き換えて算出した。  
 注3) 対象は高校2年生。  
 「第4回 学習基本調査」(2006)

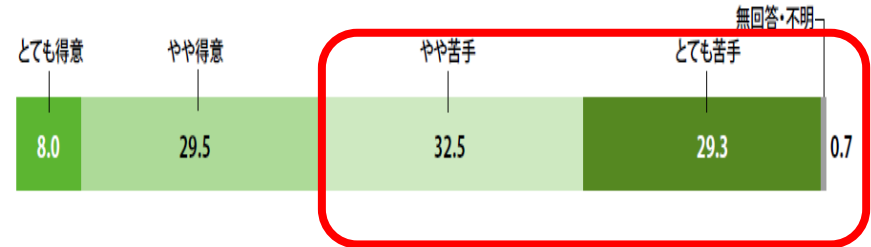
出典：ベネッセ総研「第4回学習基本調査・国内調査」(2006年)

# 英語のつまずき

Q あなたは英語が得意ですか、苦手ですか。

図2-3 英語の得意・苦手

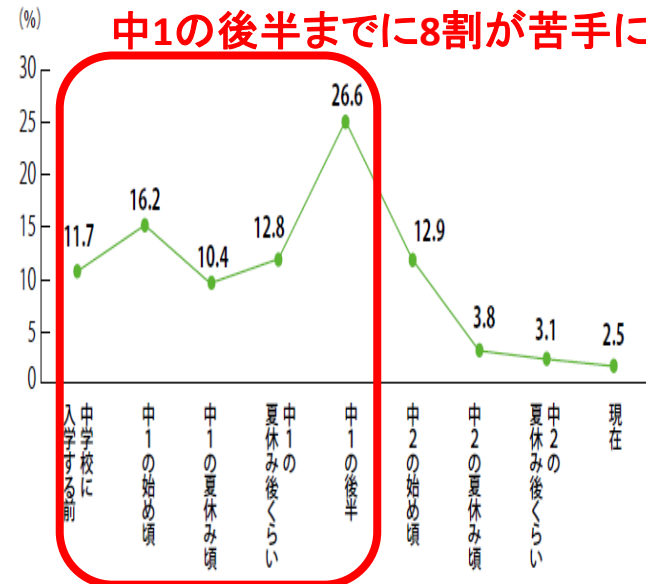
約6割が英語が苦手



Q あなたが、英語を苦手と感じるようになったのはいつ頃からですか。

図2-4 英語を苦手と感じるようになった時期

中1の後半までに8割が苦手に



\*「現在」は、本調査を実施した1～2月(中2の後半)を示す。  
 \*英語の「得意・苦手」について「やや苦手」「とても苦手」と回答した1,833名のみを対象。  
 \*「無回答・不明」は省略。

出典：ベネッセ総研「第1回中学校英語に関する基本調査【生徒調査】」(2009年)

## 中高生の英語学習実態

### ●授業の実態

「左に本文、右に和訳」のノートやワークシートをほとんどの生徒が使っている。

### ●家庭での学習

予習・宿題：

本文写し・本文和訳、単語の意味調べ

小テスト対策：

単語、文法の問題集

出典：ベネッセ総研「インタビュー結果を手がかりにした中高生の英語学習実態把握研究」(2013年)

## 中高生の英語学習への意識

### ●英語の授業に対する意識

・おおむね受け入れている生徒、批判的に捉えている生徒がいる。

→自分なりにその意義を見出し、折り合いをつけながら勉強している。

### ●生徒の意識

・「話す・聞く」は、大学に行ってからやればいい。

・「英語ができる」とは、「長文読解力が高い、文法がわかる」こと。

・文法や単語が大切だ。スペリングミスをなくす。

→「将来英語を使うこと」と「今やっていること」が乖離している。

出典：ベネッセ総研「インタビュー結果を手がかりにした中高生の英語学習実態把握研究(2013年)

# 提案

# 英語コミュニケーション能力全体像

- ・思考・判断・表現
- ・協働・協力
- ・社会の中での実践

英語を  
使う力

語彙・  
文法の  
知識、  
技能ス  
キル

多様性  
グローバル  
社会イメージ  
学習動機

限られた学習  
時間をこれだけ  
にしてしまわない

- ・学校教育の中の  
知識・技能
- ・言語スキル

- ・気付き(自己・社会)
- ・動機付け
- ・学習観、能力観
- ・学習力・学習スキル・学習方略

# 英語コミュニケーション能力全体像

- ・思考・判断・表現
- ・協働・協力
- ・社会の中での実践

学習と「使うこと」  
を結びつける

限られた学習  
時間をこれだけ  
にしてしまわない

語彙・  
文法の  
知識、  
技能ス  
キル

学習への  
意識と意欲  
を高める

- ・学校教育の中の  
知識・技能
- ・言語スキル

- ・気付き(自己・社会)
- ・動機付け
- ・学習観、能力観
- ・学習力・学習スキル・学習方略

# 教育の役割

## ●大村はま

「ことばを育てることは心を育てること、人を育てること、教育そのものである。」

## ●三浦 孝

「だから英語は教育なんだ。」

→教育の役割は、一人ひとりの子どもの可能性を最大限にしておくこと